

熱海土木 工事事故防止 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

2025.7

2号

令和7年7月に発生した(国)135号での飛び石事故の紹介です。飛び石事故は、工事関係者の事故の中でも、多く発生しており、注意が必要です。

今後も工事事故事例や事務所独自の取組など情報を発信し、工事事故の防止を図っていきますので、よろしくお願いします。

除草作業中に飛び石が縁石に跳ね返って車両のドアに直撃！！

【令和7年7月3日 工事事故発生】



事故概要

飛散防止用ネットを設置し肩掛け式の草刈り機を使用して除草作業を行っていた。飛散防止ネットの横脇から石が飛散し、通行車両(湯河原方面へ走行)の左側後部ドアが破損(へこみ 3×3mm程度)した。

事故原因

原因①

飛び石は飛散防止用ネットの横からと思われ、正確な位置は特定できないが、**飛散防止用ネットの幅や包囲が足りず**、横や斜めに飛散する石への対応が不十分であった。

原因②

除草前に小石等の障害物除去を行っていたが、堆積した草に隠れている部分まで除去ができなかった。

熱海土木 工事事故 発生件数	事故 分類	工事関係 者(傷害)	第三者 (傷害)	第三者 (物損)	工事事故 合計	令和7年 7月末 現在
	件数	1件	0件	1件	2件	

再発防止策

再発防止策①

飛散防止用ネットをコの字型の形状にするとともに、下側からの飛散にそなえ、**下側にもネットを設置**し飛散防止を図る。

再発防止策②

小石等の障害物の除去が困難な場所は、**飛散しにくいバリカン式草刈り機**を使用する。

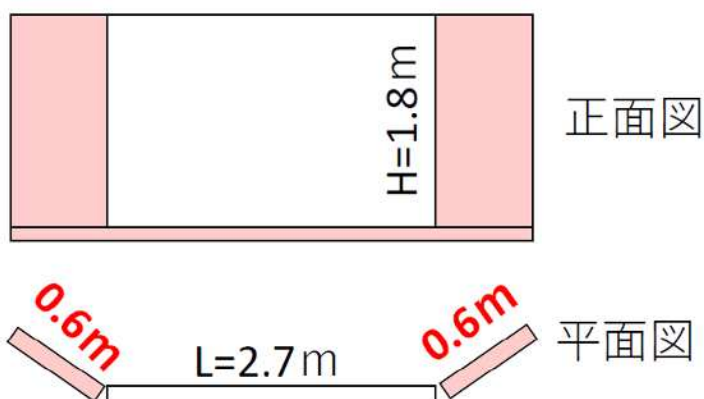
再発防止策③

上記に合わせ、除草の各工区に配置している安全管理推進者に**飛石に関する教育**を行い、リレー形式で全作業員に教育を行い、飛石対策を徹底する。

再発防止策イメージ（コの字型飛散防止ネット）



コの字型飛散防止ネット(ピンク色部分を追加)



再発防止策イメージ（バリカン草刈り機の使用）



回転バリカン式草刈り機使用



上下の刃が逆回転しハサミ構造になるため
飛散しにくい